

鴨沂高校同窓会 常任理事会 議事報告（要約）

開催日時： 平成 24 年 4 月 16 日（月）18 時 30 分～21 時

場 所： 鴨沂会館新館会議室 出席者： 9 名 本日の議長： 山崎理事長

資 料： ①鴨沂高校全面改築（建替え）計画の内容と同窓会対応についての会長試案
②京一中・洛北高校同窓会「下鴨校舎 70 年の軌跡」
③京一中・洛北高校同窓会「記念事業趣意書」
④京一中・洛北高校同窓会「記念事業 会計報告」
⑤京大合格者 高校別・学部別早見表
⑥同窓会費納入表（平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月）
⑦同窓会予算表（平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月・総会にて報告済み）
⑧鴨沂高校同窓会 会則（平成 23 年 9 月 16 日一部改正の現行）
⑨改訂理事名簿（案）

●上野民夫会長 挨拶

鴨沂高校建替え計画のため、急ぐ事情により常任理事の方に集合してもらったとのこと。

●上野会長より報告と提案

*佐川理事から鴨沂高校建替え計画内容の報告を受けた。

現在、仮校舎を検討中、早い場合は平成 25 年度に基本設計、平成 26 年度～28 年度で新校舎完成、の予定。

*同窓会として以下の委員会を軸にした実行委員会を立ち上げることの提案があった。

A. 資料調査委員会

高校にある絵画、蔵書等貴重な資料を調査・選別して、新校舎に残していくことを目的とする。平成 25 年度の基本設計が作成される前に当委員会で資料の残し方を決定する必要があるため、最も急がれる委員会である。資料②の「下鴨校舎 70 年の軌跡」を参考にする。

B. 財務委員会

上記の資料調査費、物品類の寄贈、建替え記念事業などのために、同窓会員へ寄付の依頼、その他金銭面の関係を担う委員会である。

C. 鴨沂ビジョン作成委員会

伝統があり文化的にも恵まれた環境にありながら、高校志願者数が激減し、進学率も低迷している事から脱却し、建替えを機会に新しい鴨沂ビジョンを同窓会として提案する委員会である。

●審議事項 他

・実行委員会に現在の理事以外の協力者を得るために、会則第 16 条（細則）「本会則の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める」との項目を活用して、上記の実行委員会の立ち上げの件を理事会で承認を得て、その細則に有識者の参加及び 300 万円の特別会計を組み入れた内容にすることとした。

・また、次のような意見も出された。

校舎を取壊せば発掘調査が行われることになり、計画期間が流動的にもなる。実行委員会では現実の状況を見極めながら、プランを立てていく方針が重要。

・今後様々な案件も増えることが予想されるため、情報通の福田理事に事務局に加わってもらうことに一同賛成した。

・次回理事会（5 月 26 日）では、以上の常任理事会の内容を紹介し、理事全員で検討してもらう。

以上